

第92回役員会 議事要録

日 時：平成29年5月25日(木)10:00～

会 場：大学本館 E-703 会議室

出席者：津田理事長、松尾副理事長、清田理事、片山理事、柳井理事、梶原理事、田上理事
(オブザーバー) 中野監事、福田監事、二宮副学長、中尾副学長

議 案

- 1 新英米学科開設準備室の設置について
- 2 公立大学法人北九州市立大学公的研究費取扱規程及び
公立大学法人北九州市立大学研究活動不正行為防止規程の一部改正について

報 告

- 1 平成28年度卒業者の就職状況について
- 2 COC+事業の取り組み状況について
- 3 大学ランキングについて

議案1 新英米学科開設準備室の設置について

<質疑応答>

[理事]

●異論はないが、海外に出て問われるのは、自分の考えや日本の歴史。宗教的背景や日本の文化などもしっかりと教えてもらいたい。

[副学長]

○議論の中に反映させるようにする。

[大学事務局]

○グローバル人材育成推進事業の目指すグローバル人材像にも書いているが、世界で活躍できるモチベーションを持つ人材。多様な価値観を理解尊重し、自国の歴史・文化や地域の強みを発信できる人材。自分の意見をしっかりと持ち、国際的な舞台でも主張・議論のできる人材。色々な部分をしっかりと育成できるように考えている。

[理事]

●大学を卒業し社会に出て、インターフェースとして語学は必要だが、文化など実践の機会から語学にフィードバックさせるような教育を行ってほしい。

[副学長]

○英米学科も同じような問題意識を抱えていて、中身をどうするかというのが再編の趣旨である。アンケートでは、高校生の意識が高く、ツールではなく中身を学びたいという声もある。

[理事長]

●留学先を確保できるのか。

[副学長]

○それが一番の課題。また、他大学の例を調査したところ、必修化したときに、経済的な理由で難しい学生や、心の病を抱えていて耐え切れずというケースもでてきている。この辺を踏まえ、留学をベースにした海外インターンシップなどより短期のものを等、段階的な留学以外の方法も他大学の事例や課題を参考に検討したい。

【議長】提案のとおり承認してよろしいか。

【委員】異議なし

議案2 公立大学法人北九州市立大学公的研究費取扱規程及び 公立大学法人北九州市立大学研究活動不正行為防止規程の一部改正について

<質疑応答>

〔理事長〕

●研究不正の調査結果は役員会には報告されないのか。

〔大学事務局〕

○研究不正問題協議会を設置し、教育研究審議会への報告を経て役員会に報告することになる。

〔副理事長〕

○全てが役員会に報告があがるわけではなく、研究不正問題協議会どまりになるもの、教育研究審議会まであがるもの、外部に公表されるものと事案によって異なる。

〔理事長〕

●公表の是非は研究不正問題協議会が判断するのか。

〔副理事長〕

○そうである。

〔理事〕

○予備調査があり、その段階で調査までかけない事案もある。

〔理事長〕

●公表の是非を内部で判断しているが、民間企業では社外取締役会まではあげて公表しない場合の了解を得ている。当然、事案のレベルによっては社外取締役会まであがらない場合もあるが。

〔大学事務局〕

○役員会規則で教育研究審議会における議題等のうち重要なものは役員会に報告するとなっており、調査結果がまとめれば必要に応じて役員会に報告することになる。

〔理事長〕

●民間では恣意的な判断が働いていないことを外部に見えるようかなり厳しく対応しており、こうした公的機関もその方向に動いていくはずであり、将来の課題として参考にしてもらいたい。

〔理事〕

●再発防止のための内部での情報共有はどう対応しているのか。

〔副理事長〕

○研究不正に関しては研修に活かすことにしているが、これまで事案のレベルとして、研究での活用に該当するような事案がなかった。個人的情報もあるためどこまでの情報を研修に活用するかは今後検討する必要がある。

〔大学事務局〕

○規程上、不正を認定した場合は速やかに公表することになっている。

〔監事〕

●研究不正問題協議会には外部有識者が入っていないが、外部有識者が入った研究不正調査委員会からあがってきた調査結果を認定する段階で、恣意的に判断が歪められる可能性は否定できない。外部有識者を入れる等の何か対策が必要ではないか。

〔副理事長〕

○研究不正でその段階まで至った事案がないが、ハラスメントでは同様の調査制度になっており、調査委員会の調査結果を尊重して認定しており、研究不正についても同様に調査委員会の調査結果を尊重して認定することになると考えている。

〔監事〕

●調査結果が歪められていることはないと思うが、外部から見た際の見え方として、制度的にもきちんと公正な認定が担保されている状況にしておいた方がいいのではないか。

〔大学事務局〕

○大学事務局で検討したい。

【議長】提案のとおり承認してよろしいか。

【委員】異議なし

報告1 平成28年度卒業者の就職状況について

<質疑応答>なし

報告2 COC+事業の取り組み状況について

<質疑応答>なし

報告3 3 大学ランキングについて

<質疑応答>なし